



板橋区立板橋第五中学校 学校だより

常に夢や目標をもち
多様性を尊重し主体的に行動する生徒を育成します

小中一貫学びのエリア：板橋第四小学校・板橋第五中学校



校長 太田繁伸

生徒の主体性が育つ校風の中で

秋雨に悩まされた運動会でしたが、10月11日（土）と15日（水）の2日間にわたり、無事に全競技を実施することができました。本校の運動会の特徴は、生徒たちが主体的に創り上げるところにあります。種目の決定、全校生徒によるダンスの創作と練習、そして各専門委員会による当日の運営まで、多くの場面で生徒たちの主体的な活動が光りました。

このように、本校では生徒が主体的に活動する「仕掛け」を大切にし、教員がそれを様々な形で支援しています。こうした取り組みの成果は、少しずつ外にも伝わっているようです。

その一つが、来年度の入学者数です。教育委員会の予想では、現段階で区内20もの小学校から90名を超える児童の皆さんが本校への入学を希望してくださっており、本校の教育活動への関心が広まっていることを感じます。

また先日は、北海道安平町（面積は板橋区の約7.4倍、人口は約78分の1）の教育長と中学校長が、本校の視察にお見えになりました。人伝てに本校の取り組みが伝わったことがきっかけだそうです。視察では、生徒の主体性の育成、不登校支援、コミュニティ・スクールなどについてご説明し、資料をお渡ししました。

お二方は本校の取り組みに深く共感され、特に授業中の生徒たちの落ち着いた様子や、教員との良好な関係に感心されていました。

教員だけでなく、地域の皆様や外部の方々も、本校生徒の主体性が着実に育っていると感じてくださっています。

この主体性を育む一番の要因は、私たち教員が「ああしろ、こうしろ」と指示するのではなく、「皆さんはどうしたいですか？」と問いかける姿勢を大切にしていることだと考えています。まず生徒自身に考え、判断させ、その結論に沿って実践してもらう。たとえ失敗しても頭ごなしに叱るのではなく、「なぜそうなったのかな？」「この先どうする？」と、生徒自身が原因や改善策を見出すよう促しています。

ご家庭でもぜひ同様に、お子さん自身に考えさせるような問いかけや支援をしていただければ、主体性はさらに育ち、親子の信頼関係も一層深まるのではないのでしょうか。

創立70周年記念式典を迎えるにあたり

さて、来る11月15日（土）は、創立70周年記念式典を挙行いたします。

本校は、昭和30年4月の開校以来、脈々と歴史を積み重ねてまいりました。新制中学校の発足（昭和22年）から8年後、まさに戦後の復興期から現在に至るまで、この学び舎で多くの生徒が育っていききました。

現在の生徒たちが日々学んでいるこの学校は、9,102名の卒業生をはじめ、保護者の皆様、歴代の教職員、そして地域で学校を支えてくださった皆様のお力添えがあってこそ存在します。

生徒の主体性を育むという本校の良き伝統も、この70年の歴史の中で培われてきたものです。

式典は、これまで本校を支えてくださった全ての皆様に感謝の意を表すとともに、この伝統を受け継ぎ、学校が未来へ向かってさらに発展していく決意を、皆で新たにしたいと考えております。

運動会



連日のように、運動会実行委員やダンス実行委員、クラス旗担当の生徒が放課後に残って準備を進め、いよいよ当日を迎えました。開会式の頃から霧雨が降りはじめ、途中で少し弱まることもありましたが、残念ながら雨がやむことはなく、中断せざるを得ませんでした。その後、15日に続きを行い、全校ダンスもう一度踊ることができました。中断は大変でしたが、結果的に2回楽しめた運動会となりました。

準備の段階では、8・9年生が「去年こうだったよね？」と話し合いながら主体的に協力していた姿が印象的でした。大人の指示を待つのではなく、自分たちで工夫しながら動く姿は準備から本当にかっこよかったです。

9 年面接マナー講座

10月17日、9年生は面接マナー講座を受けました。講師は私立桜丘高等学校の先生で、実際に入試の面接官も務めている方です。高校の先生ならではの具体的で説得力のあるお話で、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

講座では「人の印象は最初の3～5秒でほとんど決まる」といった内容もあり、普段の生活を見直すよい機会となりました。お辞儀の仕方や質問への答え方など、実践的な指導を受けることができました。面接試験本番でも、今日学んだことを生かして頑張してほしいと思います。



入試説明会

10月24日、入試説明会を行いました。都立・私立高校の入試の概要について具体的な説明がありました。調査書の「諸活動の記録」欄に記載する内容の調査についても説明しました。

「諸活動の記録」に記入するのは、7年生から9年生までの3年間の取組です。キャリアパスポートなどを参考に、自分の頑張りをしっかり書けるようにしてほしいと思います。

そして、提出物、提出日についても入試説明会で話がありました。提出日は必ず守れるよう、7・8年生のうちから意識しておくことが大切だと感じました。



今月の予定

日	曜日	学校行事予定
1	土	英語のつどい
2	日	
3	月	文化の日
4	火	9年三者面談 9年5時間授業
5	水	4時間授業
6	木	専門委員会・中央委員会
7	金	8年学校保健委員会 9年乳幼児体験
8	土	
9	日	
10	月	全校朝会 安全指導・点検 ふれあいアンケート ①周年行事全校練習、エゴグラム診断
11	火	
12	水	期末考査
13	木	期末考査
14	金	期末考査 周年行事準備(PM)
15	土	土曜授業プラン 70周年記念式典
16	日	

日	曜日	学校行事予定
17	月	7年①(金⑤の授業) 9年①受験用写真
18	火	
19	水	
20	木	⑤⑥笑顔プロジェクト
21	金	⑤⑥ごっちゃんタイム
22	土	
23	日	勤労感謝の日 ESAT-J
24	月	振替休日
25	火	時間割No.3
26	水	避難訓練
27	木	
28	金	⑤⑥命の授業
29	土	板四小 展覧会
30	日	

来月(12月)の主な予定

2日(火)～10日(水)三者面談期間 25日(木)終業式

生徒の活躍

バドミントン部

令和7年度板橋区バドミントン新人大会

出場

吹奏楽部

板四まつり 出演

板橋音楽祭ジュニア 2025 出演

板五中70年

副校長 須藤千絵

板橋第五中学校は、11月15日に創立70周年記念式典を行います。

振り返ると、私の初任校では20周年、2校目では50周年、そして3校目まで周年行事に立ち会いました。思えば、自分が中学生だった頃も周年の年。どうやら私は周年に縁があるようです。

これまでに9202人の卒業生、約450人の教職員がこの学校に関わってきました。その中で、節目の年に在籍・在職しているのは、まさに縁だと感じます。そして50周年や60周年の記念誌を開くと、知っている先生方の名前があり、その時代の板五中の姿を思い描いて不思議な気持ちになりました。

保護者や地域の皆様の中にも、「自分のころは〇周年だった」と懐かしく思い出される方がいらっしゃると思います。長い年月の流れを感じます。今の中学生にも、いつか大人になったとき、「自分のときは70周年だったな」と思い出すことでしょう。板五中の歴史は、私たちの歴史なのだと思います。

板五中の思い出やこれからの未来とこのご縁を大切に、みんなで70周年を祝いたいと思います。そして、板橋第五中学校が80周年、90周年へと、これからも末永く発展していくことを心から願っています。

